

八王子のデジタルトランス フォーメーション (DX) ～目指すべき姿～

第1回

(仮称)八王子市デジタル・トランスフォーメーション(DX)
推進計画策定懇談会資料

令和3年(2021年)7月16日



次第

1: 計画策定の趣旨

2: 本市の特徴

3: 本市が目指すべきビジョン・方針

4: 取組内容

1 計画策定の趣旨



計画策定の必要性

- 新型コロナウイルス対応において、行政のデジタル化の遅れが明らかとなり、対応する必要があること
- 「新たな日常」に対応した行政サービスのあり方を実現する必要があること
- デジタル化の取組について、国及び都と連携して対応する必要があること

新たな課題

- (1) 市民サービスの変革・向上
- (2) 取組みの加速化・強化
- (3) 国の自治体DX推進計画への対応

取組みの指針となる新たな計画の策定が必要

1 計画策定の趣旨



計画の位置づけ

- 本計画は、新型コロナウイルス感染症対応や国のデジタル化施策の取組みの強化等の社会情勢の変化に対応すること、及び市民サービスの変革・向上、国の自治体DX推進計画への対応について、組織横断的に推進することを目的に現在の「八王子市情報化計画」を全部改定するものです。
- 本市の基本構想・基本計画である「みんなで紡ぐ幸せ 八王子ビジョン2022 活力ある魅力あふれるまちへ」の下位計画と位置付け、基本構想・基本計画との整合を図ります。
- 令和5年3月に公表予定の長期ビジョンに掲げる「あるべき姿」の実現を、DXの取組みにより推進していきます。
- 「官民データ活用推進基本法」（平成28年12月公布・施行）に基づく「市町村官民データ活用推進計画」として位置付けます。
- 本市の特徴を反映した計画として策定します。

1 計画策定の趣旨



計画の位置づけ

基本構想・基本計画

八王子ビジョン2022

八王子市デジタル・トランスフォー
メーション（DX）推進計画

アクションプラン

6つの都市像

みんなで担う公共と協働のまち

健康で笑顔あふれる、ふれあい、支えあいのまち

活き活きと子どもが育ち、学びが豊かな心を育むまち

安心・快適で、地域の多様性を活かしたまち

魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち

一人ひとりが育てる、人と自然が豊かにつながるまち

1 計画策定の趣旨



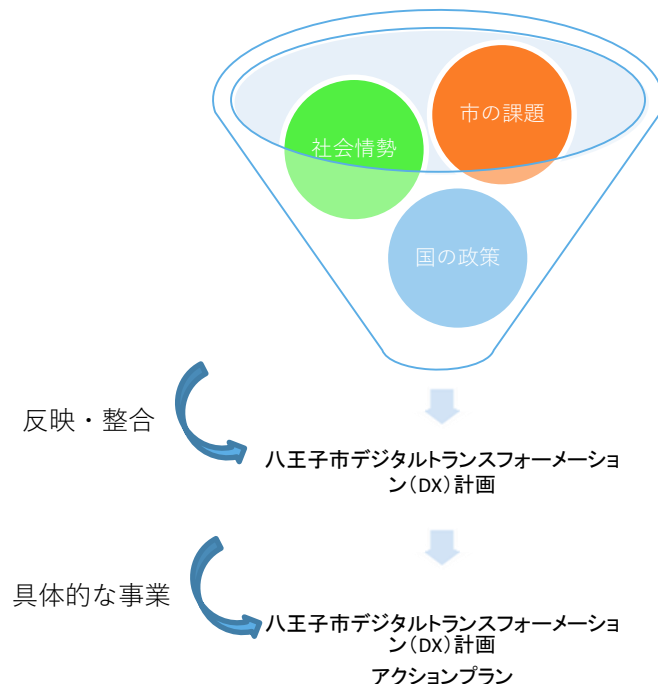
計画期間

計画期間は、令和4年度（2022年度）から令和7年度（2026年度）までの4年間とします。



計画策定イメージ

計画でビジョンや基本方針、取組内容を示し、計画策定後に策定するアクションプランで具体的な事業や評価指標等を示します。



1 計画策定の趣旨

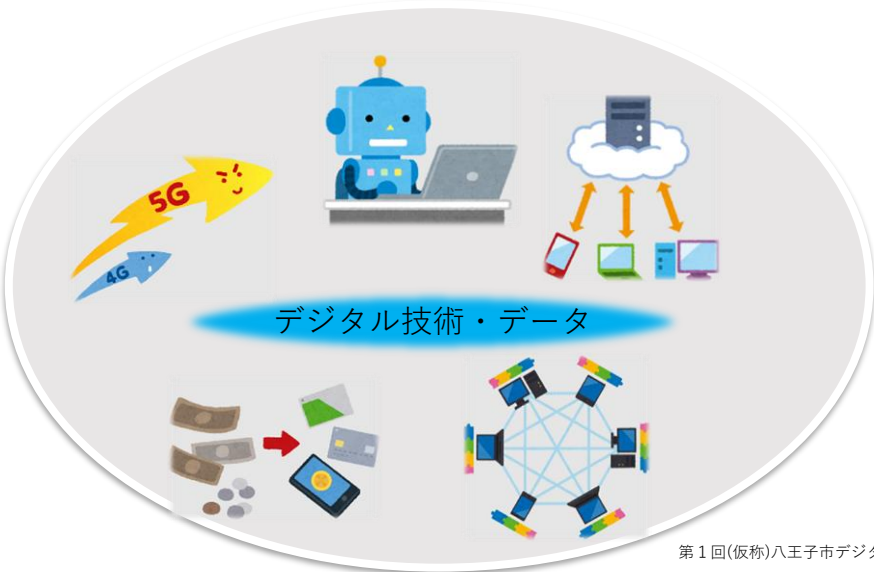


「DX」の定義

総務省の「自治体DX全体手順書」を参考にした定義

DXとは、デジタル技術やデータを活用して、利用者目線に立って新たな価値を創出するもの

DXにおいては、単に新たな技術を導入するのではなく、デジタル技術やデータも活用して、利用者目線で業務の効率化・改善等を行うとともに、行政サービスに係る住民に利便性の向上につなげていくことが求められています



次第

1: 計画策定の趣旨

2: 本市の特徴

3: 本市が目指すべきビジョン・方針

4: 取組内容

2:本市の特徴



八王子のすてきなところ

シティープロモーションサイトから

- アクセス抜群 交通利便性が高い
- 自然が身近 緑・水辺・公園が身近
- 暮らしが便利 お店・病院が多い、中学生まで医療費助成
- おいしいがいっぱい 食文化、野菜生産高都内1位
- 楽しいもいっぱい 個性的なイベントが多い
- アウトドアスポーツの聖地 アウトドアアクティビティが盛ん

2:本市の特徴

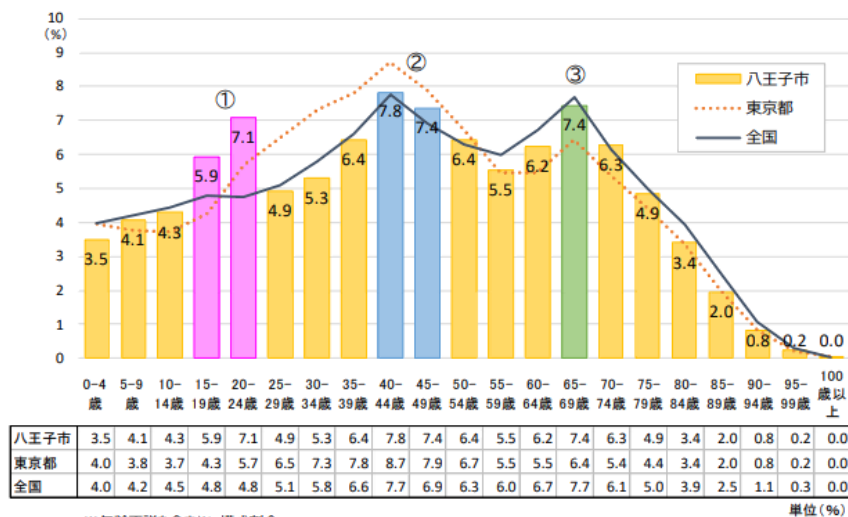


統計からみる特徴

- 人口： 561,828人（都内市町村で**1位**）
令和3年1月1日現在
住民基本台帳人口
※【参考】令和2年度国勢調査（速報値） 579,605人
- 面積：18,638ha
（都内市区町村で奥多摩町に次いで、**2位**）
出典：「住民基本台帳による東京都の世帯と人口」
- 市内には21の大学等が立地し、9万5千人以上の学生が学ぶ
出典：「はちおうじ学園都市ビジョン」（平成29年度策定）
- 1人当り森林面積： 136m²
（区市部で青梅市、あきる野市に次いで**3位**）
出典：「東京の森林・林業（令和2年版）」
- 区市町村別総農家数 1,012（都内で**1位**）

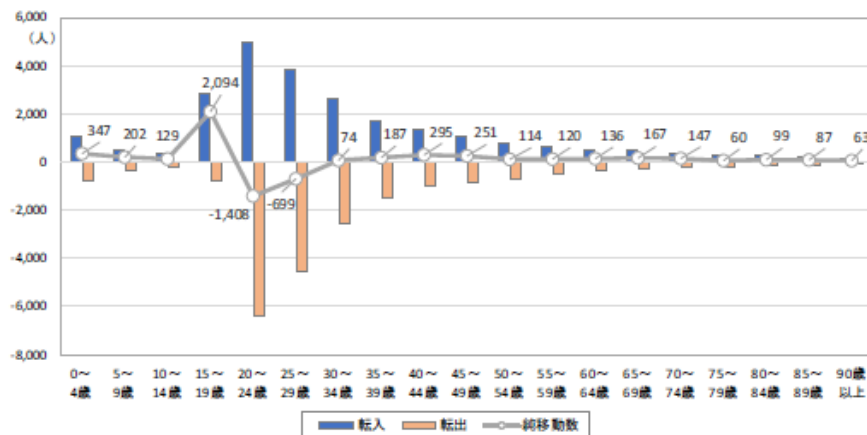
2:本市の特徴

■5歳階級別人口構成割合(平成27年(2015年))



【出典】国勢調査(平成27年(2015年))

■年齢別 転入者数・転出者数(令和元年(2019年))



出典：「八王子基礎データ集～はちおうじを知り、未来を描く～」



人口

10代後半～20代前半世代のふくらみは、大学等への入学による人口流入と思われる、21の大学等が立地する本市の**学園都市**という特徴がみられる

- 5歳階級別人口構成では、①40-44歳②45-49、65-69歳③20-24歳の順に多い
- 40-49歳、65-69歳は全国平均並みであるが、15-24歳の割合は全国平均より約2%高い

20～29歳において転出超過となっており、大学卒業時の就職などを機に市外へ転出する人が多い状況

2:本市の特徴

問6 あなたは、これからも八王子市に住み続けたいと思いますか。(〇は1つだけ)

図1-6-1 定住意向-全体、経年比較

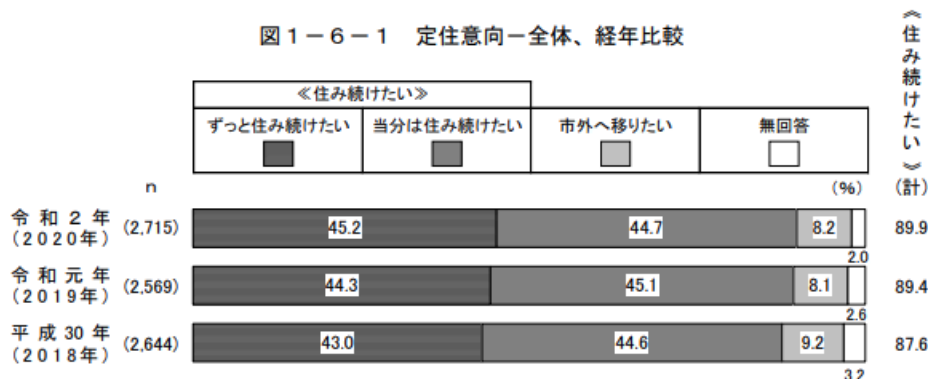
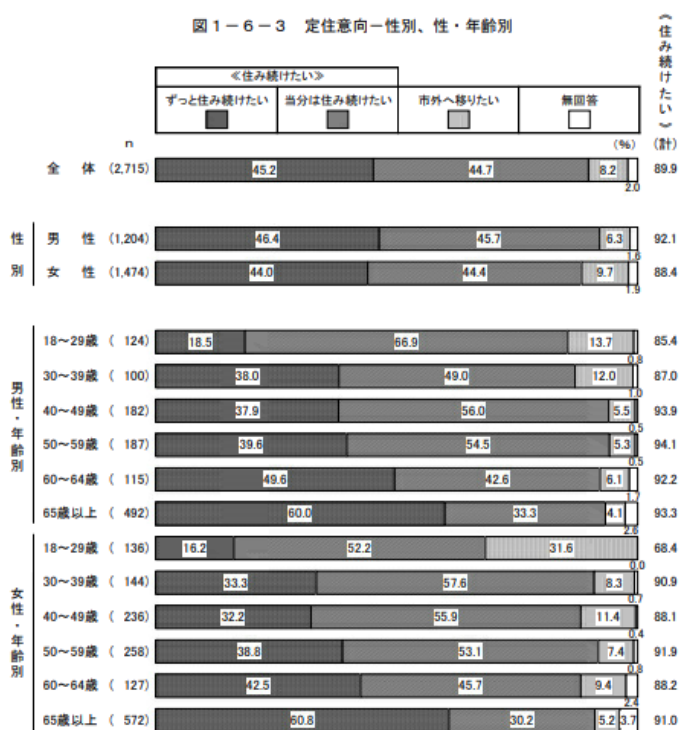


図1-6-3 定住意向-性別、性・年齢別



市民の意識データ

これからも八王子市に住み続けたいと思うか聞いたところ、「ずっと住み続けたい」(45.2%)と

「当分は住み続けたい」(44.7%)を合わせた《住み続けたい》(89.9%)は9割弱となっている。

一方、「市外へ移りたい」(8.2%)は1割未満となっている。

出典：「令和2年(2020年)市政世論調査結果報告書」

2:本市の特徴

市内大学と市役所・事務所の位置

■八王子と連携する26大学等



学園都市

本市は、21の大学、短期大学、高等専門学校が立地している全国でも有数の学園都市です。

さらに、周辺部の学校を加えた大学コンソーシアム八王子の設立や各大学等との包括連携協定の締結など、大学等との連携を積極的に進めています。

2:本市の特徴



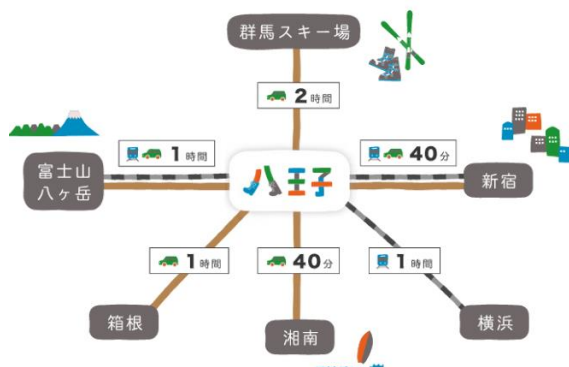
出典：「八王子市地域づくり推進基本方針」



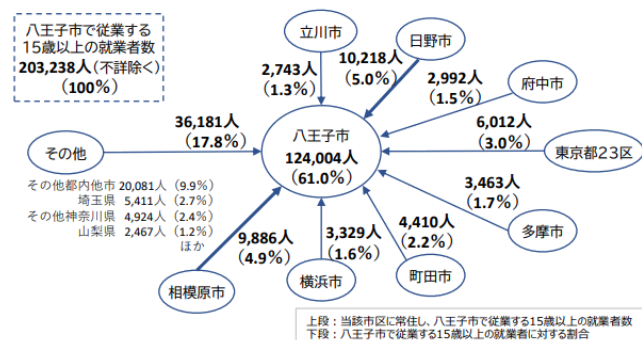
市域の区分

これまでの町村合併によって市域を拡大してきた歴史がある本市は、地域ごとに人口や年齢構成などが異なり、様々な地域の顔（地域性）を有しています。そのため、それぞれの地域性を活かしたまちづくりをすすめる観点から、市域を6つ（中央地域、北部地域、西部地域、西南部地域、東南部地域、東部地域）の圏域に区分し、市民と行政との協働によるまちづくりに取り組んでいます。

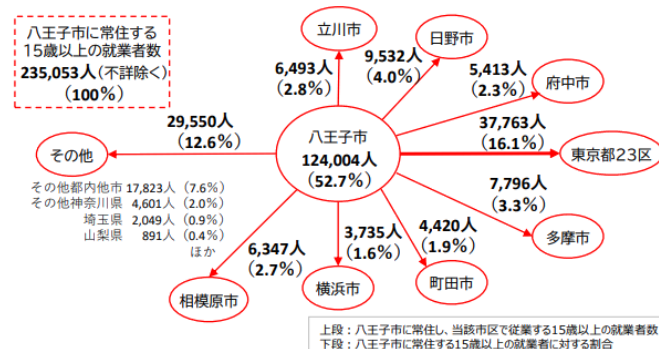
2:本市の特徴



■通勤流動(八王子市で従業する15歳以上の就業者の主な居住地)



【出典】国勢調査(平成27年(2015年))
■通勤流動(八王子市民(八王子市に常住する15歳以上の就業者)の主な従業地)



出典：「八王子基礎データ集～はちおうじを知り、未来を描く～」



交通アクセス

【鉄道】

- 7路線が使えて、東京・新宿・横浜まで乗り換えなし

【車】

- 中央道と圏央道を使えば東名・東北・関越・常磐の高速道路につながる
- 市内で働く人のうち、約4割は他市に居住
- 市民のうち、市外で働く人は約5割

交通の要衝としてのポテンシャルを有している

2:本市の特徴

祝 日本遺産認定 八王子市が都内初認定

れいきまんざん たかおさん 霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～

霊気満山

古くから霊山として崇められてきた高尾山。
ここを防げる誰もが、山内に満ちる「霊気＝生命の力」に感ぜれる。

桑葉や織物が盛んだったことから「桑都」と称された八王子の興衰の歴史を、
霊山・高尾山への人々の祈りをテーマに語るストーリー
「霊気満山 高尾山 ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」が、
日本遺産に認定されました。



日本遺産
JAPAN HERITAGE



観光・歴史・文化

「高尾山」をはじめ、「八王子城跡」、「滝山城跡」、「八王子車人形」、そして、「八王子まつり」など、29件の構成文化財を掲げて、「霊気満山（れいきまんざん） 高尾山（たかおさん） ～人々の祈りが紡ぐ桑都物語～」が「日本遺産」(*)として令和2年6月19日に認定

(※) 「日本遺産」とは
地域の歴史的な魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーを国が認定し、ストーリーを語る上で欠かせない文化財を総合的に活用していくもの

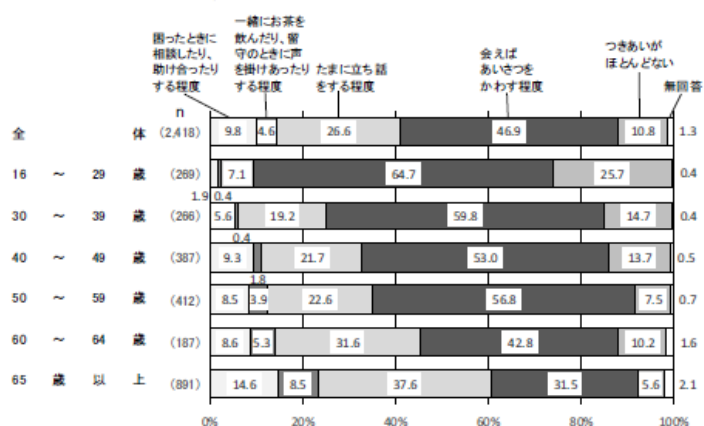
2:本市の特徴



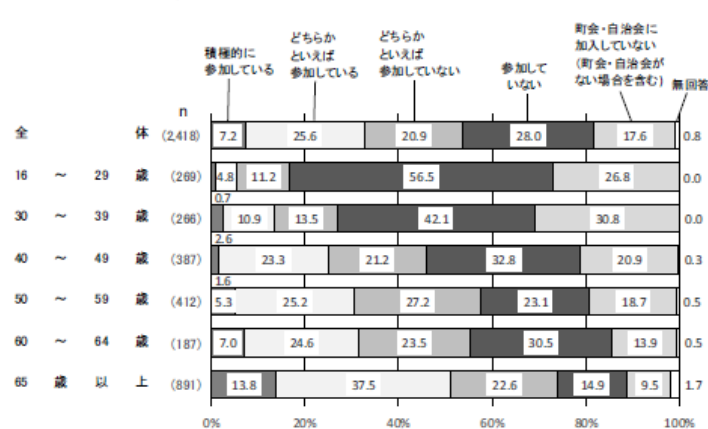
理想の暮らしとありたい姿

- 「理想の暮らしとありたい姿」というテーマに対して、「誰もが集まれる場所」、「交流」、「みんなで一緒に」といった、**「つながり」**を多くのチームが挙げていた（地域づくりのための中学校区別ワークショップ（令和2年度開催））
 - 長期ビジョン策定に向けた市民アンケート調査によると、「御近所とのつきあい方」、「町会・自治会活動への参加度合」は年齢が下がるほど「つきあいがほとんどない」、「参加していない」の回答が多い
- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、外出の自粛、各種イベントの中止、またテレワークの実施などによって、リアルな交流の機会の減少

図表 1-6-2 隣近所とのつきあい方 - 年齢別



図表 1-7-2 町会・自治会活動への参加度合い - 年齢別



次第

1: 計画策定の趣旨

2: 本市の特徴

3: 本市が目指すべきビジョン・方針

4: 取組内容

3:本市が目指すべきビジョン・方針



目指す「ビジョン」と「基本方針」

デジタル技術の活用により人と人のつながりを深め、地域共生社会を実現する

ビジョン

～目指す姿～



基本方針 ～どのような方法で実現するのか～



市民視点の変革
～人にやさしいDX
～

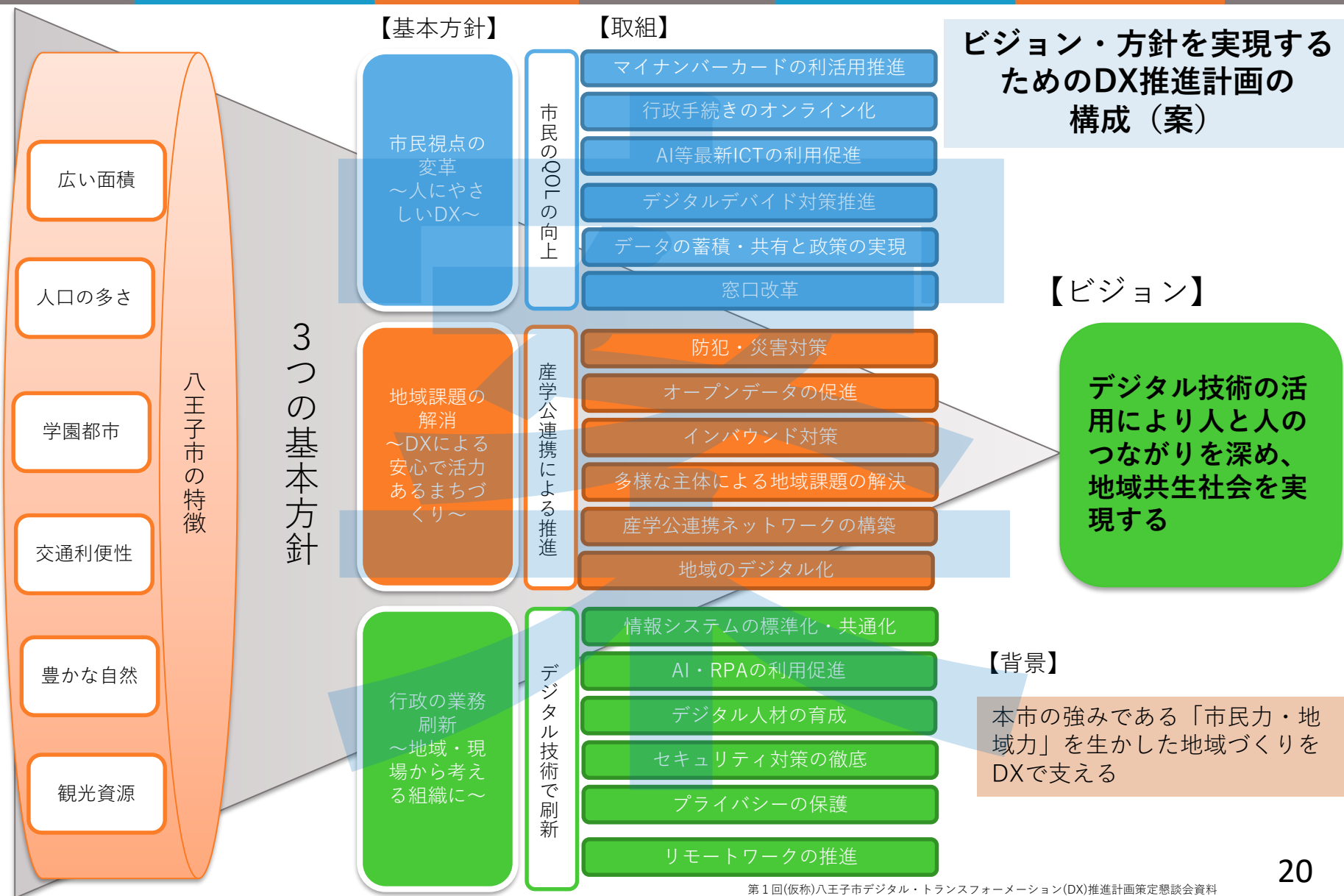
地域課題の解消
～DXによる安心で
活力あるまちづく
り～

行政の業務刷新
～地域・現場から
考える組織に～

なぜこのビジョンを目指すのか

本市の強みである「市民力・地域力」を生かした地域づくりをDXで支えるため

3:本市が目指すべきビジョン・方針



次第

- 1: 計画策定の趣旨
- 2: 本市の特徴
- 3: 本市が目指すべきビジョン・方針
- 4: 取組内容

4: 取組内容



取組を進めるための5つのポイント

計画における取組は、以下の「5つのポイント」に従って進めます。



- ① **スモールスタート** : 早期着手と横展開による取組拡大
- ② **スピード** : デジタル技術の効果を発揮するためスピード感をもって対応
- ③ **標準化・自動化** : スピード対応及び思考する時間創出等のための業務刷新
- ④ **アジャイル^(※)** : 確認と改善の繰り返し
アジャイル (agile) : 小単位に実装とテストを繰り返し、開発を進める手法
- ⑤ **蓄積と継承** : 経験則の蓄積と整理分類・再利用

基本方針1: 市民視点の変革～人にやさしいDX～



市民のQOLの向上

QOL：クオリティ・オブ・ライフ（英: quality of life）とは、一般に、ひとりひとりの人生の内容の質や社会的にみた『生活の質』のこと

マイナンバーカード の利活用推進

- カードを活用したサービスの拡充
- カードの取得促進

行政手続きの オンライン化

- オンライン申請の拡充
- 相談業務のオンライン化

AI等最新デジタル 技術の利用促進

- チャットボットを利用した問合せに対する自動応答



東京共同電子申請・届出サービス



市税問い合わせチャットボット自動応答サービス

デジタルデバйд 対策推進

- 誰もが使いやすいデザイン
- スマホ教室等の実施

データの蓄積・ 共有と政策の実現

- データの収集・分析を行うシステムの導入
- データに基づいた政策立案

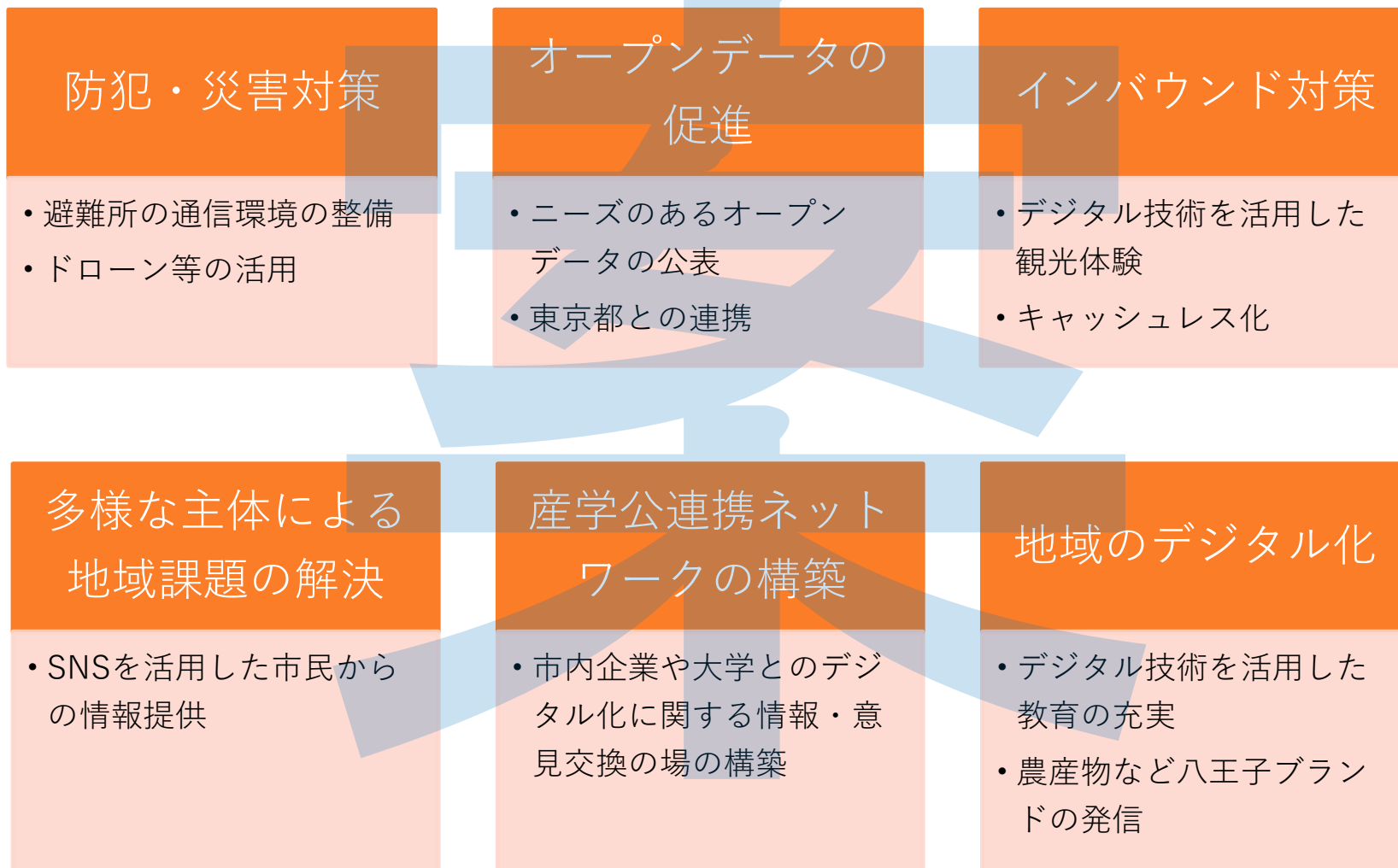
窓口改革

- 申請書作成の負担軽減
- キャッシュレス化

基本方針2: 地域課題の解消～DXによる安心で活力あるまちづくり～



産学公連携による推進



基本方針3: 行政の業務刷新～地域・現場から考える組織に～



デジタル技術で刷新

情報システムの 標準化・共通化

- 17業務システムの円滑な標準化対応
- ガバメントクラウドの活用検討

AI・RPAの利用促進

- AI-OCR及びRPA導入業務の拡充
- 職員向けチャットボットの導入

デジタル人財の育成

- 人財育成におけるサービスデザイン思考の導入・展開
- デジタルリーダーの活用

セキュリティ対策の 徹底

- 情報セキュリティ内部監査・外部監査・研修の実施
- セキュリティポリシーの適切な運用

プライバシーの 保護

- 安全管理措置の徹底
- 信頼性の向上

職場環境の最適化

- テレワークの実施
- フリーアドレス環境の導入
- オンライン会議の推進

国八王子市